

租税教育実践事例（6 学年）

登米市立南方小学校
教諭 佐藤 ゆかり

1 小单元名 私たちのくらしと税金

2 指導にあたって

(1) 小单元について

児童はこれまでの学習や生活経験の中で、消費税など税金を意識する機会があったが、それほど自分たちの身近なものとは意識していない。税金が自分たちの生活の中でどのように使われ、生かされているのかを正しく理解していないため、税金が必要だとは知っていても、なぜ必要なのかがはっきり分かっていない。

そこで、本单元では私たちの生活は税と深く関わっており、豊かな暮らしを実現するためには税金はなくてはならないものだということを気付かせていきたいと考える。

(2) 児童の実態（男9名，女10名，計19名）

[アンケートによる実態調査]

1 税金ということばを知っていますか。

・知っている 17人 ・知らない 2人

2 税金にはどんな種類がありますか。

・分からない7人
・消費税 ・住民税 ・農税 ・民税 ・年金 ・保証金
・大人が払っているお金

3 税金はどんなことに使われていますか。

・国や市 ・机や教科書 ・救助 ・公共の場 ・救急車 ・病院や町
・人々のくらし ・困っている人を助ける

4 税金は必要だと思いますか。

【必要18人】

- ・みんなの役に立つから
- ・国がなくなるかもしれないから
- ・私たちのくらしを支えているから
- ・学校に行けなくなるから
- ・救急車や消防車にお金がかかる
- ・みんなで助け合うのは良いことだから
- ・人々のくらしが楽になるから
- ・くらししていけなくなるから

【必要でない1人】

3 小单元目標

(1) 社会的事象への関心・意欲・態度

税金の働きについて関心をもち、意欲的に調べようとしている。

(2) 社会的事象についての知識・理解

税金の働きや必要性について理解することができる。

4 学習計画


時数	主な学習活動
1	税金とは何かを理解する。
1	法人会の方のお話を聞き、税金について理解を深める。(本時)
1	活動のまとめとして、税金絵はがきを書く。

5 本時の指導

(1) ねらい

法人会の方のお話を聞き、税金がわたしたちの生活を支えるために大切な役割を果たしていることを理解する。

(2) 学習過程

段階	主な学習活動	○児童の様子 ・ 児童の反応
導入	1 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 私たちの暮らしと税金のかかわりについて考えよう。 </div>	○登米法人会の金野さんから税金についてのお話を聞いた。
	2 外部講師の紹介を聞く。	
展開	3 税金の種類を知る。 (1) 知っている税金を発表する。 (2) 50種類、57兆円の税金が集められていることを知る。 (3) 1億円のレプリカを実際にもってみる。	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税 ・固定資産税 ・家庭税？など
	4 税金の使われ方を知る。 (1) 税金が使われているものとそうでないものにカードを分ける。	 <p>○予想以上に重いことに驚いていた。 ○57兆円はこれが57万個分と知り更に驚いていた。</p>



- (2) 学校の物には税が使われていること知る。
- ・学校に税金が使われなくなってお金を払わなければならない場合月謝はいくらか。

○工場，ホームセンター，スポーツクラブが分からずに迷っていた。全員で考えて，ホームセンター，スポーツクラブは使われていない方にするが，工場は使われている方にした。

5 DVD『マリンとヤマト不思議な日曜日』を視聴し，税金の必要性を知る。

- ・教科書の裏を見てみた。
- ・5万円と答えた児童が約半数いた。



- (1) 税金がなくなったらどうなるかを知る。
- ・救急車
 - ・消防車
 - ・信号
 - ・大きい物だと1億5千万位かかる

○真剣に見入っていた。

- ・働く義務

- (2) 国民の三大義務を知る。
- (3) 税金クイズに答える。
- ・外国にある税
 - ・所得税がかかるもの
 - ・税務署を表す記号
 - ・利用すると税金がかかるもの

・??



まとめ

- 6 本時を振り返り，質問をする。
- 7 税金について分かったことを絵はがきにまとめることを知らせる。

・安部総理大臣は税金をどれくらい納めているか聞いて驚いていた。

6 児童の感想

- ・税金がいろいろなことに使われていることが分かりました。ぼくも将来、たくさん稼いでたくさん税金を納めたいです。
- ・税金が人々の生活を支えていることが分かり、しっかり税金を払おうと思いました。
- ・1億円の重さにびっくりしました。
- ・税金がこの世からなくなったら、道路にたくさんごみがあつたり、道路を歩いても信号もなく、歩道を通るにもお金がかかったり大変なので税金は必要だと思いました。
- ・税金がなくなったら学校にも行けなくなるから税金はあった方がいいと改めて思いました。しかも火事とかになったら消防車を呼ぶのにもお金がかかるのは大変だから、税金は必要だと思いました。

7 税の絵はがき



8 まとめと考察

- ・「わたしたちの暮らしと税金」やインターネットなどから情報を得ることができ、児童の学習に役立った。
- ・法人会の方に来ていただいてお話を聞いたことは児童にとって大変貴重な体験であり、短時間でたくさんのお話を学ぶことができました。また、その中でDVDも効果的に活用され、税金がなぜ必要なのか理解しやすかった。
- ・税の学習が終わった後も、税金のことが普段の生活や学習の中で話題にのぼるようになり、税金が自分たちの身近なものであるという意識が変わったことがうかがえる。
- ・学習したことをもとに税金絵ハガキを描いたことで、自分の考えを整理することができた。